

“おかげさま、の気持ちで一步前へ！”

HAGI JC NEWS 2012

JCニュース VOL.51

1号

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

第56代理事長 大久保 裕元



旧年中は豊田理事長の掲げる「志士仁人～強く優しく～」のスローガンのもと、私たち(社)萩青年会議所の活動へのご理解、ご協力を賜り誠にありがとうございました。

本年、第56代理事長を務めさせていただくにあたり、一言ご挨拶を申し上げます。

2012年、萩青年会議所は創立55周年を迎えます。創立以来、多くの先輩方が連綿と築いてこられた歴史を顧みますと、その幅の広さ、奥行きに改めて私たち現役会員は敬意を表するとともに、この伝統を承継できることに感謝の念を抱きます。このすばらしい歴史に新たな1ページを加えるべく、積極的に活動を行いたいと考えております。

さて、2011年は日本にとって非常に強烈な印象を残した年でありました。東北地方太平洋沖での大地震に端を発した大津波による東日本大震災、そして2次災害ともいべき原発問題など、まさに戦後以来の「国難」と呼ぶにふさわしいダメージを受けたのは今なお記憶に新しいところです。あの、瞬間的に生じた大被害の様子を目の当たりにしたとき、「今そこにある幸せ」というものは決して当たり前のものではない、ということを感じました。私たちは改めて、私たちの周りにある「あたりまえのこと」に感謝の念を持ち、“おかげさま”の気持ちを持って生きていかなければならないと思います。

私たちの事業環境をみますと、長引く景気低迷は深刻の度を増しており、解決の糸口が見つからないまま歯を食いしばって経済活動に取り組んでいる、という状況ではないでしょうか。このような中、青年会議所活動を行うことができるのは会社の仲間や、家族、その他周囲の皆様の理解協力があってこそです。関係各位への感謝の念を持ちながら、その恩に報いるためにも精一杯元気を出して、活動していかなくてはなりません。

また、私たちの住み暮らす地域をみても、観光地としての資源を十分に持ちながら、その地元にいる私たちの多くはその魅力に気づいていない、あるいは気づいていても活用ができていないように感じます。加えて本来元気を出すべきはずの私たち青年世代にあまり活気、勢いが無いように思います。

景気が悪い、地域の活気が少ない、と嘆いてみても問題は解決しません。足下にある、一見あたりまえに感じる物事に今一度関心を持ち、それを周囲に発信し、そして何より私たち自身が明るく元気に活動すること、このことなくては青年会議所が掲げる「明るい豊かな社会」の実現はできるはずありません。

本年度のスローガンを「貪欲に?“おかげさま”の気持ちで一步前へ!?’とさせていただきます。これまで申し上げたように、“おかげさま”という感謝の気持ちをもって若者らしく元気に貪欲に活動を行えば、ややもすると閉塞感が漂うわがまちにも一点の突破口ができるものと信じております。

2012年という年が皆様にとってすばらしい年となりますように、またこれまで同様私たちの活動に対しましてご支援ご協力を賜りますことをお願い申し上げます。

本年一年、どうぞよろしく願い申し上げます。

(公社)日本青年会議所スローガン

呼び覚ませ
日本のプリンシプル!

中国地区協議会基本方針

「変わらないために変わる」
多様性が結ぶ
力強い中国の創造

山口ブロック協議会基本方針

『結 束』
「変わらないために変わる」
守るべき全てのために